

補導員だより

第 64 号
令和 4 年 3 月
福井市補導員連絡協議会
編集・発行
総務広報部会

令和3年度 非行防止展

そのSNS利用、よく考えて！

令和3年12月18日、ラブリートナールにおいて非行防止展を開催し、SNSやインターネットに関連した非行・被害防止を呼びかけるタペストリーを展示しました。
訪れた多くの家族連れや小中高生などに対し、SNS利用のあり方等について考える機会を提供することができました。



タペストリーを熱心に見て下さいました。

非行防止展に参加して

お孫さんのことを気にかけて、パネルを見てくださるご夫婦や、子どもさんが幼くても将来のことを考えて、自分たちから気をつけていこうとチラシを受け取ってくださるお母さんがいらつしました。冬休み前で、クリスマス前の慌ただしい時期ではありましたが、非行防止展に参加し、子どもたちや大人に声をかけていく必要性を思いました。
年が改まって、コロナ感染が増えてきましたが、12月に非行防止展を実施できて何よりでした。平日の研修等は仕事で参加ができませんが、今回は参加することができて良かったです。
(地区補導員)



(センター)



会場展示の様子

自信を持って
愛の声かけ

新しいパネルを作成しました！

オリンピック以降、スケートボードを楽しむ若者を多く見かけるようになりました。若者のネット依存が懸念される中、屋外でスポーツに興じる姿を見るのは、好ましいものです。
一方で、禁止している場所を傍若無人に走り回る愛好者もあり、会員からは、少年への影響や、事故につながる危険性を心配する声が寄せられました。
そこで、当会ではマナー向上を啓発するパネルを作成し、非行防止展で展示を行いました。

ルールを守れる人は
カッコイイ！！



みんなが安全に利用するために、ストリートスポーツを禁止している場所があります。

「練習の場所がないから」「誰も使っていないから」と、自分勝手にルールを無視していませんか。
禁止された公園や街中のベンチ、階段の手すりなどでトリックを決めても、人にぶつかったり、物に傷をつけたら壊れたりすれば、犯罪となります。

まずは、ルールを守るところから始めませんか？

僕の楽しいは、
誰かの危険だった



大いに盛り上がった東京オリンピック。スケートボード、BMXの華やかさに魅了された人も多かったはず。
せっかく選手たちが築き上げた「すごい！カッコイイ！」の地位を守るためにも、マナーやまわりを守って楽しもう。

テクニックだけでは
本当の「カッコイイ」にはなれない



家族連れや友だち同士など、多くの方が参加してくれました。



おめでとう
ございます

令和3年11月20日、青少年健全育成福井県民大会がユース・アイふくいにおいて開催され、当会の補導員3名が「優良な青少年愛護センター補導員に対する知事感謝状」を受領されました。

【受領された皆さん】

岡 三知浩 (旭地区)
正治 美恵子 (湊地区)
鈴木 邦美 (湊地区)

※敬称略





福井市補導員連絡協議会研修会



研修会の様子

今回の研修に参加して一番印象に残ったのは、「捕まえるのではなく、会話を態度で活動する」ということです。私たちの活動は、非行を見つけるのではなく未然に防ぐのが主目的だと思っています。再認識しました。

また、ロールプレイ演習では、設定された事案に関連して実際に体験した報告などが話し合わせ、大変参考になりました。時間が足りなかったくらいです。

(関係団体)

(高校教員)

研修会で補導活動のDVDを観て、自分の補導時の言動を改めようと思いました。また、グループワークでは、地域の方や中学校教員と、補導の場所や現状などの情報を交換、共有することができ、とてもいい機会となりました。ありがとうございました。

研修会に参加して

令和3年11月25日、国際交流会館において福井市補導員連絡協議会研修会が開催され、補導員約30名が出席しました。

DVD「補導の手引き」を視聴後、グループに分かれて声かけの演習を実施しました。「少年」「補導員」「店員」役を演じるロールプレイを通して、声のかけ方によって、相手にどんな印象を与えるかなどを体験しました。

研修後は、実際に街頭に出て補導活動を行いました。



ロールプレイ演習
(目線を合わせて…)



ロールプレイ演習 (高圧的な声かけだと…)



グループワーク

街頭補導では、これまで巡回しなかった場所まで学生を見かけたので、それ以来、その場所も回るようにしています。

研修会は、他の方の声かけや対応の仕方が参考になり、いろいろな気づきもあって、参加してよかったと思いました。(センター)

声かけの際には、穏やかに目線を合わせて話しかけることが大切なことだと思います。

研修会では、班に分かれてロールプレイ演習を行いました。補導員役が高圧的に声をかけ、少年役が反抗的に対応する設定となったときには、互いに折れるタイミングが分からず、收拾がつかなくなりました。逆に、補導員役が目線をぐっと下げて、少年の目線に合わせて話しかけてみると、同じ声かけでも少年に素直に受け入れてもらうことができました。

この研修を生かし、自分ひとりで解決しようと思わず、メンバーと連携し、親しみを持って声かけをしていきたいと思いました。

(地区補導員)

DVD「補導員の手引き」視聴では補導員の心得を学び、ロールプレイ演習では各地区の方々・学校の先生と一緒に補導活動を疑似体験しました。「声をかける側だけでなく、かけられる側の気持ちを知る」事も大事であるということなど、経験の浅い私にとって、学びの多い研修でした。



「補導の手引き」視聴中

補導員誌より

◆路上にて、自転車の2人乗りをしている男子高校生に「危ないよ」と声掛け。「はい。」と答えながらそのまま走行したが、直後に後方から来たパトカーに止められ注意されているようだった。

◆アオッサではベンチにまたがっていたりしゃがんでいたりといた女子高校生に注意した。「中にスポンをはいているから大丈夫だ。」と言ったが、「どこで誰が見ているかわからないから気を付けて。」と声かけた。

◆ハピリンの階段には女子高校生2人が楽しそうに自撮りしていた。白い壁だと反射して肌がきれいに映るのと、階段で撮ると脚が長く見えるので撮影スポットになっているとのこと。

◆夕方、JR福井駅前広場の恐竜前においてスケートボードをして遊んでいる少年3人に、スケートボード禁止場所である旨注意指導した。

◆公園内の水辺でアメンボをとっていた小学生男児2人に「落ちないように注意してね。」と声かけ。

◆アオッサの8階に高校生のカップルがいて、男の子が女の子の膝枕で寝ころんでいた。声をかけるとパツと起きて話には応じてくれた。

◆店側に挨拶をして了解を得て巡回したものの、営業妨害だと言われる一幕があり、声かけの難しさを痛感した。

◆男子高校生が私たちが活動しているのを見て、「ご苦勞様です。」と声をかけてくれた。私たちの活動が抑止力につながっていると感じた。

各地区からの補導活動報告記

こんにちは！



東安居地区です

東安居地区は福井市の西部に位置し、東西に日野川、足羽川、狐川、底喰川と4つの川が流れています。地区の人口は6,705人、3千世帯で、少子高齢化が進んでいます。近年、人気のハイキングコースである下市山は、地区内外の老若男女に親しまれています。

さて、私たち補導員女性3名は、毎月第2日曜日の午後4時から徒歩で巡回しています。地区には公園がたくさんあり、大型ショッピングモールやドラッグストアなども回っています。大型ショッピングモールは、多くの親子連れが訪れるため、子どもたちに声かけをしています。

ここ数年、コロナ感染で子どもたちもマスク着用で大変だと思っています。これからも、子どもたちに寄り添って少しでも安心して生活していける地域づくりに貢献していきたいと思っています。

～お知らせ～

福井市補導員連絡協議会では、下図のマグネットシートを作成しました。会員が自分の車の後部に貼って走ることで「スマホの使い方」について、意識啓発を行っています。



編集後記

振り返ってみれば、本年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルスに翻弄される1年でした。その中でも、当会では、研修会や非行防止展を開催することができました。

私は非行防止展に参加しました。コロナ禍で制限がある中でしたが、活動の成果があげられたのではないかと思います。

さて、補導員だより64号の発刊にあたり、多くの方から寄稿頂きました。紙面の関係上、全ての方の原稿は掲載できませんでしたが、皆さんの熱い思いを感じることができました。本当にありがとうございました。